

“わたしのまち”

新宿区

にぎわい都市・新宿の創造への取組

「多彩で個性的な顔を持ち、新しいことを創出するまち」

新宿区は繁華街から住宅街に至るまでさまざまなまちの姿が区内に点在し、多くの人が住み集うまちです。

そして、まちの観光にまつわる情報発信やイベントの開催、創出を行っているのが一般社団法人新宿観光振興協会です。

今回はおすすめスポットとともに、新宿観光振興協会の取組の一部をご紹介します。

新宿を知るなら「新宿観光振興協会」

多くの観光スポットを持つ新宿区

新宿は、乗降客数世界一の巨大ターミナル新宿駅を持ち、百貨店やブランドショップが集積するほか、世界有数の繁華街である歌舞伎町があります。

その一方、江戸の風情を残す神楽坂や、多国籍の文化が共生している大久保など、地域ごとに違う特徴があり、多様な顔を持つ魅力的なまちです。また、文人・画家が多彩な活動を行ったまちでもあり、有形・無形の文化財や、地場にもある、有形・無形の文化財や、地場にもある、息づく染色・印刷産業など、豊かな土地の記憶・まちの記憶に彩られています。

こうした新宿の魅力を一層高め、創造性にあふれたまちとして持続的に発展し続けるために、地域や企業の枠組みを超えて平成26年4月に『一般社団法人新宿観光振興協会(以下、「協会」という。)]を創設し、官民が一体となって取組んでいます。協会では、観光客や来街者に向けて、新宿区内を「新宿駅周辺」「四谷」「高田馬場・早稲田・大久保」「落合」「神楽坂」の5つのエリアにわけたマップ入りの観光情報誌「新宿Plus」を年2回発行し、ショッピングやグルメ、文化施設など、地域の魅力情報を提供しています。また、海外向けには、「新宿エクスプローラー」を英語、中国語(繁体・簡体)、韓国語、タイ語で作成し、アジアを中心とした海外の旅行代理店で配布するなど、観光客の視点に立った情報提供も行っています。

新宿区には多様な顔を持つ魅力的な場所が多い。左上：夜の新宿大ガード(新宿) 右上：外堀の桜(四谷) 左下：「染の小道」(落合)の様子 右下：夜の新大久保の様子(大久保)

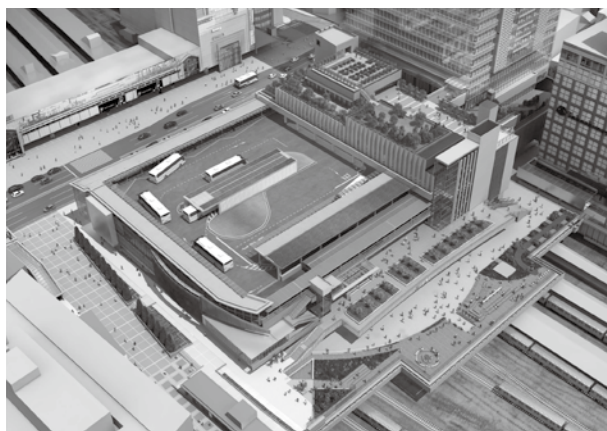




随所に江戸の風情を残す神楽坂のまち並み。路地裏を歩くのも楽しい



2016年4月に誕生する「バスタ新宿」。バスやタクシーの乗換への利便性が高まる(資料提供 東京国道事務所)



にぎわいをみせる新宿のまち

協会おすすめスポット

◆江戸の風情薫るまち 神楽坂

江戸時代からの地割りがそのまま残されている神楽坂には、石畳や黒塀など昔の風情が残る路地裏があります。また、現在も江戸文化や明治の文豪の足跡、大正の新劇活動、花柳界の伝統が生きる料亭など、伝統芸能や和の文化が息づくまちです。一方でフランス料理店など、和の雰囲気うまく調和された新しい店も多くみられ、何度でも訪れたくなるまちです。

◆新たなにぎわい 新宿駅

世界一乗降客数の多い新宿駅の南口

が大きく変わります。

これまで、駅周辺に点在していたバス、タクシーなどのターミナルを集約した、駅直結の日本最大級交通ターミナル「バスタ新宿」が誕生します。これにより、これまで時間がかかっていた電車(駅)からバスやタクシーへの乗換もスムーズになります。

また、「バスタ新宿」には隣接する「JR新宿ミライナタワー」が開設し、オフィスや商業施設、多目的ホール、屋外広場、保育所、クリニックなどが入る複合ビルが新たなランドマークとして誕生します。新宿駅東口・西口に並ぶ新たなにぎわいが創出されます。

まちの魅力を伝えるイベントを主催

観光資源の開発・創出や企業と地域・団体をつなぎ、効果的なイベントの開催等に取り組むことも、協会の持つ大きな役割の一つです。

協会が主催者として駅周辺商店街、百貨店、小売店商業施設、鉄道事業者などからなる実行委員会との協力・連携により行われている最大のイベントが、毎年10月に行われる「新宿芸術天国」です。

「新宿芸術天国2015」では「新宿を、これ以上盛り上げてどうするんだ」を合言葉に、新宿駅を中心とする東西の会場でファッションやパフォーマンスの祭典が行われました。

このイベントでは、東京都公認のイベント「ブナーティスト」による大道芸、「新宿らしさ」をテーマに区内事業者の制服やオリジナルファッションによる「Shinjuku GALA Parade」、百貨店等によるファッションショーなどが行われ、新宿の多彩な魅力が感じられるものになりました。



普段の新宿のまち並みとは違った魅力が感じられる「新宿芸術天国」。2015は「新宿を、これ以上盛り上げてどうするんだ」を合言葉に、ファッションやパフォーマンスの祭典が行われた。



地域イベントへの協力

一方、協会では地域ごとに行われるさまざまなイベントにも協力しています。

東京の染色産業の中心として今も落合・中井地域で活動が続いている染色職人と商店、住民が一体となって行われる染のイベント「染の小道」は、毎年2月に開催されています。協会では後援団体として関わり、イベントを盛り上げるために、ホテルなどで英語の話せるスタッフが着物姿で案内を行いました。平成28年度には新宿区内にある「和」



これからの新宿

進むまちの再整備

新宿駅周辺は、商業が集積する東口地区、業務が集積する西口地区が鉄道施設により分断されています。その中で、新宿駅東西自由通路は、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせた使用開始に向け、順調に工事が進められています。

このように、区内全域にわたってさまざまなイベントなどを行い、多くの地域や団体、企業が結びつくことで、より多くの来街者が望めます。また、地域の持つ特性を活かし、新たな観光資源を創出することでまちの魅力を伝えることができます。そのつなぎ役を協会が担っています。

をつなぐ取組を行う予定です。染色、茶道、和食、伝統芸能を紹介するパンフレットを英語併記で作成し、今後、これらをもとに和体験のコースづくりを計画しています。この取組では、区内の和の体験を提供できる協会会員が集まり「和」をつなぐイベントを検討しています。

落合・中井地域で毎年2月に行われている染のイベント「染の小道」



新宿観光振興協会では、観光客の視点で海外向け、国内向け、それぞれにグルメ、ショッピングなどの情報を盛り込んだ冊子を配布しています

東西自由通路の完成により、歩行者の利便性が向上し、来街者が東西のまちを回遊することで、さらなるまちのにぎわいの創出につながります。また、東西自由通路からまちへとつながる東・西駅前広場の再整備について、周辺も含めたまちづくりの検討を進めています。さらに、新宿駅東口では、新宿通り

のモール化に向けた社会実験や、靖国通り地下通路延伸の検討など、駅周辺の利便性・回遊性の一層の向上のための取組を進めています。新宿区では、平成27年度から無料公衆無線LAN環境「新宿フリーWi-Fi」の整備に取り組んでいます。まず新宿駅周辺地域から整備を開始し、官民連携のもと区内に面的な整備を進めていきます。また、あわせて、協会がWi-Fi用の観光ポータルサイトの開設を行い、新宿の最新の観光情報を提供することにより、来街者に広く区内を回遊していただけるようにしていきます。さらに、新宿を訪れる国内外の観光客に向けて、わかりやすい観光案内標識を新宿駅周辺から順次整備していきます

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせた使用開始に向け、順調に工事が進む「新宿東西自由通路」。利便性の向上や東西のまちを回遊によるさらなるまちのにぎわいの創出が期待される（提供 東日本旅客鉄道株式会社）



平成27年度より新宿駅周辺地域から整備が始まった、無料公衆無線LAN環境「新宿フリーWi-Fi」試験提供中！



「バスタ新宿」[JR新宿ミライナタワー]のある新宿駅東南口には新宿観光振興協会の観光案内所も整備される予定だ（画像はバスタ新宿の完成予定図（資料提供 東京国道事務所））

ます。協会では、平成28年秋以降に「バスタ新宿」「JR新宿ミライナタワー」のある新宿駅東南口の甲州街道高架下にも、イベントスペースとあわせて文化観光情報発信拠点となる観光案内所を整備し、地域に密着した情報発信を行う予定です。新宿駅周辺が再整備されることで、今後ますます多くの観光客が区内を訪れることが予想され、新宿区と連携し、イベントの実施・協力や情報発信を担う協会の役割はさらに重要になるといえるでしょう。